

# 電波タイムズ

The Dempa Times

昭和25年6月28日第三種郵便物認可

2015年(平成27年) 第6400号

3月2日 月曜日

月次金曜日発行  
(祝日休刊)

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目20番1号 電話03(5473)6050 FAX(0473)6051  
大阪支社/支局:中部・静岡 <http://www.dempa-times.co.jp>

APPLIC

## 過去最大規模と同等の21社48製品

### 地域情報PF標準仕様で相互接続性確認

一般財團法人全国地域情報化推進協会(APPLIC)は、最も

新しい地域情報プラットフォーム標準仕様(APPLIC)を実現する企業の製品の相互接続性を検証する相互接続確

LIC-00002-120

認イベント第10期を実施した。

このイベントにおいて

168件の相互接続確認

テストを実施し、21社48

ユニット製品の相互接続

を確認し、相互接続を確

認した製品には追加登録

・相互接続確認登録

・相互通信登録

・相互通信登録

・相互通信登録

・相互通信登録

月次金曜日発行(祝日休刊)

地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠する製品数が、毎年大幅に増加している状況にある(平成21年3月末50、ツト製品、平成22年3月末115、ユニット製品、平成23年3月末269、ユニット製品、平成24年3月末429、ユニット製品、平成25年3月末629ユニット製品、平成26年3月末769ユニット製品)。平成26年度においても増加傾向は一層高まり、平成27年1月末時点では884ユニット製品が登録されており90ト参加企業数は通常40社、同参加製品総数は3社ベジで公開されている。

一方、自治体における準拠製品の導入もこれに合わせて増加しきており、平成25年4月には732団体で同標準仕様を採用したシスメ再構築に取り組まれている状況にある(総務省が平成25年12月に実施した自治体アンケート調査「遠隔化」によれば、1570の自治体が地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠していることがデファクトスタンダードとなりつつある現状を踏まえ、自治体によるシステム調達の際に合理的かつ自由度の高い製品選択が可能となるよう、また企業にもらうことにより相互通信の認知度を向上、普及活動を推進しているところである。

1面記事

今回は、より詳細な相互接続確認を実施する新テスト(L2テスト)をすべてのユニットで実施した。今後もL2テストへの適応範囲を順次拡大を図ることで、L2テストの認知度を向上、標準仕様への準拠性担保を強化していく予定である。

APP LIC（一般財団法人全国地域情報化推進協会）は1月29・30日、地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠した教育情報アプリケーションユニット標準仕様V1.1の普及を目的として、9社20製品が参加し、相

互確認接続イベント第10期を開催した。各製品間で通常データがやり取りできるか確認するレベル1テストに合格した企業は以下の中から、エラーを含んだデータへの対応や、オプション機能である学齢簿情報の取り込みを確認する

## 9社が合格 APP LIC

### 学齢簿情報の取込も

2015年（平成27年）

3月2日

月曜日

第2060号

弥生・蚕日・建辰月

ひなまつり（3/3）

啓蟄（3/6）

春分の日（3/21）

# 教育家庭新聞

第1月曜日発行

## 教育マルチメディア号

発行所=〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8  
TEL: 03 (3864) 8241㈹  
FAX: 03 (3864) 8245  
郵便振替口座 1309-53693

購読申込み ☎ 03 (3864) 8241 メール kks@kknews.co.jp

ホームページ <http://www.kknews.co.jp/>

創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社 1部 450円

レベル2テストも実施。全ての製品が相互接続確認テストに合格した。合格した製品には、APP LICの推薦マークが付与される。

教育情報アプリケーションユニット標準仕様V1.1は、特別支援学校の小学部・中学部の指導要録にも対応し、オプション機能で学齢簿情報の取り込み機能にも対応。学齢簿情報の取り込みに関しては、就学時だけではなく、異動時のデータも取り込まれる。本仕様製品の普及は、氏名・住所等の基本情報の入力を学校で行う必要がなくなり、校務の一層の効率化が期待できる。

相互確認接続イベントに参加し合格した企業は以下の9社。▼東日本電信電話株▼株内田洋行▼株EDUCOM▼株サイバーリンクス▼株システムディ▼ズキ教育ソフト株▼富士通株▼株文溪堂▼株西備システムノベーションズ